

# 夢のキッズアスリートプロジェクト

in 只見



**1** 「ボン・ピュン・ラン」走法を指導する渡辺真弓(わたなべ まゆみ)選手

**2** ハードル走で参加児童と競走する久保倉里美(くぼくら さとみ)選手

**3** 三段跳びのジャンプを披露する吉江崇裕(よしえ たかひろ)選手

**4** 朝日小学校ランチルームでアスリートと楽しい給食

9月11日に只見中学校のグラウンドで、小学校5、6年生を対象に「夢のキッズアスリートプロジェクトin只見」が行われ、町内の小学校から79名の児童が参加しました。

これは、福島大学の地域貢献事業の一環として福島大学地域創造支援センターが行っており陸上競技のトップアスリートが小学生に実演しながら実技指導や競走を行うことにより、陸上競技をより身近に感じてもらうことを目的に開かれました。

はじめに、福島大学陸上競技部監督の川本和久先生が「今日は一日楽しく過ごしましょう」とあいさつされ、次に目黒町長から「今日の練習をしつかり覚えれば100m走で1秒ちぢまります。必ず走りが速くなります。指導者の言葉をよく理解して練習を頑張ってください」とあいさつがありました。

また、参加選手のベルリン世界選手権代表、久保倉里美さんは「小さいころから一生懸命練習してきました。走ることが大好きです。みんなも頑張ってください、すばらしい選手になってください」と激励されました。

続いて、陸上教室が開始され第一部では参加選手の50m走やリレーのバトンパス技術、50mハードル走、三段跳び、やり投げが披露され、日本を代表するアスリートの速さや力強さに圧倒され感激していました。第二部では参加選手と児童が50m走や400mリレーで対決、第三部は実技指導が行われ、川本先生が生み出された魔法の走り「ボン・ピュン・ラン」走法を久保倉里美選手や丹野麻美選手などから指導を受けました。

最後に丹野麻美選手から「好きになることで辛い練習も頑張れます。夢を持って一生懸命練習してください。必ず夢はかないます」と選手代表あいさつがあり、参加児童からは「今日の練習を思い出し、これから陸上を頑張っていきます。楽しい時間を本当にありがとうございました」とお礼のあいさつがありました。

このような経験から将来のトップアスリートが只見町からも誕生することを期待したいと思います。

魔法の走り  
「ボン・ピュン・ラン」走法  
をマスターしよう!